

2019年1月1日

2019年 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

リプロセルは、今年で設立17年目を迎えることができました。これも皆様の多大なるご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

昨年は、「グローバル化」、「新規事業」、「再生医療」の3つの領域で大きな進捗がございました。

4月にインド企業を買収し、REPROCELL India社として新たにスタートすることにより、日本、アメリカ、イギリス、インドの4拠点を保有することになりました。現在のバイオ産業の主力市場である、アメリカ、ヨーロッパ、日本の3つに加え、今後大きな成長が見込めるインドでも積極的に事業展開を行うことで、グループ全体として成長を加速してまいります。

また、最先端のゲノム編集技術(CRISPR/Cas9)を保有するパートナー企業と共同で、新規ビジネスを開始いたしました。CRISPR/Cas9は、今後、医療、農業、研究など様々な分野で幅広い応用が期待されている技術です。当社の保有する最先端のiPS細胞技術とゲノム編集技術と組み合わせることで、新たなiPS細胞事業として拡大してまいります。

また、再生医療の分野においても大きな進展がございました。脊髄小脳変性症を対象とした再生医療製品の日本における治験計画届の審査が無事終了し、今後、第II相試験を開始できるようになりました。また、iPS細胞を用いた再生医療の研究にも本格的に着手し、アメリカの企業とJVを設立するなど研究を加速しております。具体的には、筋萎縮性側索硬化症(ALS)や横断性脊髄炎(TM)の治療を目指しております。今後、少しでも早く新しい治療法をお届けできるよう、全力を尽くしてまいります。

今年は、前年に確立した上記の大きな流れをさらに押し進めることで、事業をさらに加速してまいります。リプロセルでは、今後とも引き続き、世界最先端のiPS細胞技術を活用することで、研究支援および再生医療の両分野において、積極的に事業を拡大してまいります。

最後に、皆様におかれましても、幸多き年になりますよう役職員一同祈念しております。

株式会社リプロセル

代表取締役社長

横山 周史